

そっこう

行田総合病院広報誌

FREE

SUMMER 2026 社会医療法人社幸会 行田総合病院



特集 1
いい健診って？
Health Check

特集 2
二次検診も
当院ならスムーズ！

特集 3
知っておきたい
血液検査値の読み方

地域のために。あなたのために。

当院で受けられる健診・検診

身体測定・採血・放射線検査・心電図検査などが1フロアでOK!!

種類	対象者	検査目的・内容	金額	
一般健診	16歳以上	雇入時の健康診断(検査内容はお問合せください) 定期健康診断(検査内容はお問合せください)	16,192円 20,273円	
企業健診	対象企業にお勤めの方	企業の希望に沿って検査項目を設定させていただきます。ご相談ください。	検査内容により異なります。	
行田市 行田市在住の方に限ります	特定健診	行田市国民健康保険に加入中で40～74歳までの方	無料	
	後期高齢者健診	75歳以上の後期高齢者医療保険に加入の方	無料	
	肝炎ウイルス	40歳以上の方で過去にこの検査を受けたことがない方	血液検査(B型・C型肝炎ウイルス検査)	500円
	健康診査	15～39歳の方。左記以外の年齢で生活保護受給中の方	身長・体重・血圧・血液・尿検査等	1,000円
	乳がん	40歳以上の女性で昨年度市の検診を受けていない方 行田市からクーポン券が届いた方 ※2年に1度	乳房レントゲン検査(マンモグラフィ)	無料
	大腸がん	40歳以上の方	検便(潜血)検査 ※事前に検査容器が渡されます。	無料
	前立腺がん	制限なし	血液検査(PSA検査)	500円
胃内視鏡検診	50歳以上の方 ※2年に1度	胃カメラによる胃の検査	3,000円 ※鎮静の場合4,000円	
社会保険特定健診	社会保険に加入中のご家族(被扶養者)の方	生活習慣病の発症を未然に防ぐために、メタボリックシンドロームに着目した健診(身長・体重・腹囲・血圧・血液・尿検査等)	保険組合の種類によって異なります。	
協会けんぽ生活習慣病予防健診	協会けんぽ加入中のご本人	身長・体重・血圧・血液・尿・便・心電図・胸部・胃部レントゲン検査等	5,500円 ※胃カメラの場合+10,000円	
がんリスクスクリーニングAIRS(男性5種)	40～90歳の男性	血液検査(胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん)	25,300円	
がんリスクスクリーニングAIRS(女性6種)	25～80歳の女性	血液検査(胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮・卵巣がん)	25,300円	
脳梗塞・心筋梗塞リスクスクリーニングLOX-index検査	40歳以上	将来の脳梗塞・心筋梗塞が心配な方 血液検査(脳梗塞・心筋梗塞)	13,200円	
MCIスクリーニング検査	50歳以上	血液検査(軽度認知障害)	24,200円	
マイナィンゲール生活習慣病リスクスクリーニング	制限なし	血液検査(心血管疾患リスク、2型糖尿病リスク他)	14,300円	
線虫N-NOSE(がんリスク)	制限なし	尿検査(全身15種類のがんリスク)	16,800円	



◆健康診断

健康診断の目的は、病気を早期に見し、早期治療に繋げること。病気の原因となる生活習慣の問題を把握し病気を予防することです。生活習慣病は心筋梗塞や脳血管障害など大きな病気の原因となりますが、早期では無症状であることが多く、問題になります。もし、健診で精密検査・再検査の必要があると判断された場合、当院ではすぐ二次検診の予約が可能です。二次検診を受けることによって『特定の病気』の早期発見と治療に繋げることができます。このスピード感こそが『いい健診』と言える要素の一つです。まずは、健康診断のご予約を。

私たちにとって一番大切な「健康」。色々な思いを抱えて。あるいはただ会社の決まりだからと健康診断を受ける。となると、自分にとって『いい健診』に辿り着くためのコンパスが欲しい。行田総合病院健診担当に『いい健診』とは何か、話を聞きました。

いい健診ってなんだろう？



◆人間ドック・脳ドック

健康診断ではご自身の健康状態を把握できますが、検査に限りがあります。さらに多くの検査を行える人間ドックや脳ドック、併診ドックは、健康診断では分からない病気を発見できます。ご自身が心配な病気の早期発見や健康の維持のために、人間ドックを活用することもおすすめです。

人間ドック・脳ドック

種類	対象者	検査目的・内容	金額
当院設定	人間ドック	検査内容を充実させ、人間ドックを半日で受けられます。忙しくて時間が取れないという方でも受検しやすくなっています。内科診察、身体測定、眼科検査、循環器、呼吸器、消化器、尿一般、血液一般、肝機能(胆・脾)、血中脂質、糖尿病、腎機能、血清、血液型、感染症等。	47,500円
	脳ドック	脳卒中(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)の予防につながります。脳ドック単独検査(頭部MRI、頭部・頸部MRA)。	26,500円
	併診ドック	人間ドックと脳ドックを同時に検査します。	73,000円
行田市 行田市在住の方に限ります	人間ドック	行田市国民健康保険に4カ月以上加入中の方で35歳以上、国民健康保険税を完納している方	12,700円
	脳ドック	行田市指定の検査項目となります。	6,500円
	併診ドック	人間ドックと脳ドックを合わせたものになります。	28,420円 ※胃カメラ+4,000円 ※胃カメラ鎮静+5,000円

※各健診・ドックには、ご希望に応じて各種検査(前立腺がん検査、胃内視鏡、リスクスクリーニングなど)を追加することが可能です。



当院なら「二次検診」もスムーズに。

◆二次検診は、すぐ大切です。

健診で精密検査・再検査の必要があると判断されたなら、早めに二次検診の予約をしましょう。ここではどの診療科が二次検診に対応し、どんな検査をするのかをご紹介します。「早期発見が治療に繋げる」とこの流れこそが「いい健診(検診)」であるとお勧めできるポイントです。



健康診断 → 二次検診
胃がん検診 ⇨ 消化器内科

●胃内視鏡検査

胃がん検診は、胃のX線検査やペプシノゲン検査という血液検査などで行われています。二次検診は、消化器内科が対応しています。健康診断の結果を持って医師の診察を受診し、その後、必要に応じて内視鏡検査を実施いたします。当院では内視鏡専門医師が月々土曜まで毎日検査を行っており、内視鏡により健康診断で指摘された箇所を詳しく検査します。異常を認めた場合には、組織を採取し、病理診断医が細胞レベルで検査します。希望される方には鎮静剤を使用した検査も行っています。眠っている間に終わるのでこれまで検査を避けていた方、苦しんで受けていた方などには特に好評です。

万が一、病理検査によって胃がんが判明した場合でも早期であれば内視鏡での治療が可能です。また、それよりも進行した胃がんであっても消化器外科と連携し、手術療法または化学療法を実施できる体制が整っています。



健康診断 → 二次検診
大腸がん検診 ⇨ 消化器内科

●大腸内視鏡検査

大腸がん検診は、便に含まれる血液を調べ、便潜血検査で行われています。こちら消化器内科で二次検診に対応しています。便潜血検査で陽性となり、大腸がんや診断される確率は3%程度あります。そのため、大腸内視鏡での二次検診を実施することは大切であり、早期がんであれば内視鏡での治療が可能です。

検査は肛門から内視鏡を挿入し大腸の内側を直接見ます。はじめに回盲部(小腸から大腸への移行部)まで内視鏡を到達させた後に抜去しながら観察を行います。

大腸がんや前がん病変の発見や治療だけでなく、潰瘍性大腸炎などに代表される炎症性疾患や感染症の診断にも用いられます。進行状況によっては、上記胃がん同様、病理診断科・消化器外科と連携して治療にあたります。



健康診断 → 二次検診
脳神経の検査 / 脳神経外科

●脳ドック

脳ドックは、脳MRI、脳MRA、頸部MRA、頸動脈超音波検査、血液検査などが行われます。これらの検査では脳血管疾患(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、頸動脈狭窄など)を早期発見すること、それらの危険因子を早期発見することを目的としています。

健康診断で異常を指摘された箇所を前出の検査によってさらに精密に調べ、脳神経外科医が総合的に診断します。

治療が必要となった場合には、最新の血管撮影装置などを使用し、狭くなっている血管を拡張する治療や脳腫瘍に対する手術治療にも対応しています。治療後の社会復帰に向けては、リハビリテーションを専門に実施する回復期リハビリテーション病棟も併設しています。



健康診断 → 二次検診
前立腺がん検診 ⇨ 泌尿器科

●PSA検査

※健診時に+500円で検査できます。

前立腺がん検診は、PSAという前立腺特異抗原を調べる血液検査で行われています。前立腺特異抗原は前立腺から分泌されるPSAタンパクという物質が血中にどれだけ存在するかを測定します。通常、PSAは血中にほとんど存在しないため、健康診断にて陽性と判定された場合は、泌尿器科での二次検診を受診しましょう。

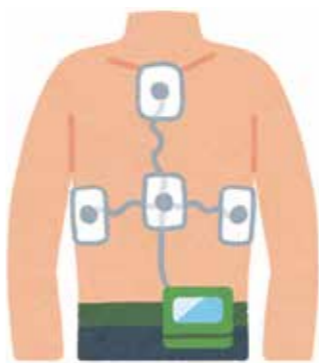
泌尿器科医師は、超音波検査やMRIを行った上で、直接前立腺の組織を採取し、病理検査による診断確定を行います。当院では、泌尿器科医師と病理診断医による体制で検査から診断、ロボット支援手術や化学療法で治療を行います。

健康診断 → 二次検診
心臓の検査 ⇨ 循環器内科

●心電図異常の検査

心電図検査では心臓の状態を把握します。健康診断で実施される心電図検査で「脈(リズム)異常」や「血流異常」を指摘された場合には、二次検診で精密検査をすることをおすすめします。脈(リズム)異常の場合は、心房細動などの不整脈がないか精密検査を実施していきます。

当院では、ホルター心電図検査装置を24時間装着していただき、日常生活の中で心臓に異常が出ていないかを調べます。血流異常では、冠動脈CTや心臓超音波検査を実施していきます。それぞれの検査で所見があり、診断を確定していく場合には、更に心臓カテーテル検査(写真)を行います。狭心症や心筋梗塞の診断となればカテーテル治療を行います。カテーテル治療に難渋した場合には、手術治療を大学病院へ依頼できる連携体制も整っています。



知っておきたい

血液検査値の読み方

基準値・項目解説一覧表

院内測定項目

検査基準値ってなんですか!?

- 基準値とは健康な多くの人の検査結果を統計処理したものです。平均値を中心に全体の95%の人が含まれる範囲を基準範囲、その上下両端値を基準値といいます。
- 基準値は検査方法、測定機器、試薬によっても異なってきます。
- 検査結果に影響を及ぼす因子（食事・運動・採血時間・年齢・個人差など）があります。
- 検査値の正しい判断には、個々の症例で異なってきます。疑問や質問がある場合は、医師へご相談ください。

検査項目	およその基準値	検査の目的（内容）
Ca（カルシウム）	8.8～10.1mg/dl	骨代謝などをみます。
IP（リン）	2.7～4.6 mg/dl	
CRP 定量	0.0～0.14 mg/dl	炎症により高値になります。
Fe（鉄）	M 40～188 μg/dl F 29～164 μg/dl	鉄は赤血球を作る元素です。貧血の指標になります。鉄は血液を運ぶ蛋白質にくっついて身体の中を巡りますが、UIBCはくっついていない部分にあたります。TIBCは鉄の血中総運搬能です。トランスフェリンという蛋白質と鉄の結合しうる能力（鉄+UIBC）をいいます。
UIBC（不飽和鉄結合能）	191～269 μg/dl	
TIBC（総鉄結合能）	250～425 μg/dl	
WBC（白血球数）	3.3～9.0×10 ³ /μl	
RBC（赤血球数）	M 430～570×10 ⁴ /μl F 380～500×10 ⁴ /μl	主に貧血の指標。貧血などにより低値になります。多血症で高値になります。
Hb（ヘモグロビン）	M 13.5～17.5 g/dl F 11.5～15.0 g/dl	
Ht（ヘマトクリット）	M 39.7～52.4 % F 34.8～45.0 %	
MCV	85～102 fl	
MCHC	30.2～35.1 %	MCVは平均赤血球容積。MCHCは平均赤血球ヘモグロビン濃度のことで、これらを赤血球恒数といいます。赤血球恒数の評価は貧血があると判断された場合に行われます。
PLT（血小板数）	14.0～34.0×10 ⁴ /μl	一部の貧血、肝疾患、血液疾患などで低値になります。血液を固めるのに必要です。
RDW SD	50 fl以下	赤血球粒度分布幅と呼ばれ、輸血時や赤血球大小不同症、奇形赤血球を認める時に高値になります。
RDW CV	15 %以下	

検査項目	およその基準値	検査の目的（内容）
TP（総蛋白）	6.6～8.1 g/dl	肝機能、栄養状態をみます。低栄養などで低値となります。
Alb（アルブミン）	4.1～5.1 g/dl	
BUN（尿素窒素）	8～20 mg/dl	腎機能の指標。腎機能の低下により高値となります。
CRE（クレアチニン）	M 0.65～1.07 mg/dl F 0.46～0.79 mg/dl	
Na（ナトリウム）	138～145 mEq/l	体内電解質浸透圧をみます。水分摂取障害などでNa、Clなどが高値になります。
K（カリウム）	3.6～4.8mEq/l	
Cl（クロール）	101～108mEq/l	
TB（総ビリルビン）	0.4～1.5 mg/dl	黄疸、肝機能、胆道系の指標。胆石などでも高値になります。
DB（直接ビリルビン）	0～0.3 mg/dl	
AST	13～30 IU/l	肝機能の指標。肝・心・筋の疾患により高値となります。男性10～42IU/l、女性7～23IU/l
ALT	4～44 IU/l	
LD（乳酸脱水素酵素）	124～222 IU/l	肝機能の指標。血液疾患などでも高値になります。
ALP	38～113 IU/l	肝機能の指標。胆道系疾患（胆汁の停滞）により高値になります。アルコールの摂取量によっても高値になります。男性13～64IU/l、女性9～32IU/l
γGT	16～73 IU/l	
CK	M 59～248 IU/l F 41～153 IU/l	骨格筋、心筋、平滑筋の損傷によって高値になります。
AMY（アミラーゼ・血液）	44～132 IU/l	膵臓や唾液腺の疾患によって高値になります。
UA（尿酸）	M 3.7～7.8 mg/dl F 2.6～5.5 mg/dl	主に痛風で高値になります。腎障害がある場合も高値になります。
ChE	229～521 IU/l	肝機能の指標。男性240～486IU/l、女性201～421IU/l
TC（総コレステロール）	142～248 mg/dl	血管や細胞膜を作る成分。過剰にあると血管に沈着し、動脈硬化などの原因になります。
HDL-C	M 38～90 mg/dl F 48～103 mg/dl	たまったLDL-Cを取り除くので善玉コレステロールと呼ばれています。
LDL-C	65～163 mg/dl	血管壁に溜まり、動脈硬化などを起こすので悪玉コレステロールと呼ばれています。
TG（中性脂肪）	35～150 mg/dl	高値だと動脈硬化や脂肪肝の原因になります。食後は高値となるため、採血は空腹時に行いましょう。男性40～234mg/dl、女性30～117mg/dl
LAP	30～70 mg/dl	肝機能、胆道系の指標。
GLU（血糖）	70～109 mg/dl	糖尿病などで高値、低血糖では低値になります。
HbA1c（NGSP）	4.6～6.2 %	過去1～2カ月間の血糖コントロールの指標。



かかりつけやいつものクリニックで紹介状を受け取ったら

WEBで予約ができます！

STEP 1

QRコードを
読み込む

※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



STEP 2

質問項目に沿って
予約希望を入力(Web)



STEP 3

医療機関からの予約確定日
連絡を待つだけ

※ 3営業日以内に予約日をご連絡いたします。



地域医療連携室 TEL.048-564-2537

